

# EGUIDEプロジェクト 処方調査

## 2016年度～2020年度 調査の結果

### **\* Quality Indicator (医療の質:QI)とは\***

Quality Indicator (QI)は医療の質を示しており、%で表しています。QI項目には例えば「統合失調症患者における抗精神病薬単剤治療率」などのような、主としてガイドラインで推奨されている内容がEGUIDEプロジェクトでのQI項目として選ばれています。QIにあげられた項目がガイドラインに沿ってどれくらいの割合で実施できているか示しており、実施できていればその項目でのQIスコアは高くなります。

### **\* Quality Indicator (医療の質:QI)の解釈と使い方\***

QI項目はそのスコアが高い方がガイドラインに沿った治療を実施できていることを示します。理想的には100%ですが病院の環境や、QI項目によって必ずしも100%であるべきとは限りません。QIは、大まかな診療の質指標であり、個々の患者の診療の質や医師個人の診療の質を測定するには限界があります。また施設・病棟等の状況なども個々違いますので、その解釈については注意払う必要があります。

EGUIDEプロジェクトではQIの変化を縦断的に検討し、QIの変化から処方行動が客観的に評価できるようになっています。また各病院もしくは 個人の各QIスコアに関して、他の病院の同じQI項目と比較したり、また同一病院内での別のQI項目と比較することにより、全国の病院の中での自らの病院あるいは個人の診療・処方状況が明らかになり、実施率の低い部分について理由を検討することで診療の質の改善につなげることができます。

### **\* 結果の見方\***

まとめの表では全国の病院の患者のQI値と、QIの最大値と最小値を各年度ごとに記載しています。  
病院においては各QIと全国における順位を示しています。  
個人においては各QIと全国における順位(病院の分布に当てはめた時に一番近い病院の順位)を示しています。  
グラフについては全国の病院のQIを高い病院から低い病院の順番に棒グラフで示しています。  
病院または個人のQIの位置は▼マークで示しています。

## 【統合失調症】結果のまとめ

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
	全国 1176人	全国 1860人	全国 2456人	全国 2999人	全国 2684人
	QI値 (最大値－最小値)	QI値 (最大値－最小値)	QI値 (最大値－最小値)	QI値 (最大値－最小値)	QI値 (最大値－最小値)
QI-1: 統合失調症患者における抗精神病薬単剤治療率	56.2% (100-15.8)	55.9% (95.9-20.0)	54.3% (100-0)	52.9% (100-0)	54.3% (100-0)
QI-2: 統合失調症患者における抗精神病薬単剤治療率(他の向精神薬との併用もなし)	15.4% (50.0-0)	17.2% (47.4-0)	15.8% (57.1-0)	17.8% (52.2-0)	20.0% (100-0)
QI-3: 統合失調症患者における抗不安薬・睡眠薬の処方されていない割合	32.6% (75.0-0)	34.9% (65.5-0)	32.4% (80.0-0)	34.2% (100-0)	37.1% (100-11.1)
QI-4: 統合失調症患者における抗うつ薬が処方されていないものの割合	92.7% (100-72.7)	91.8% (100-40.0)	89.3% (100-26.1)	91.3% (100-40.0)	92.3% (100-40.0)
QI-5: 統合失調症患者における気分安定薬・抗てんかん薬が処方されていないものの割合	73.8% (93.3-35.7)	75.0% (100-36.8)	72.0% (100-30.3)	75.0% (100-40.0)	75.3% (100-20.0)
QI-6: 統合失調症患者における持続性注射剤治療率	8.5% (32.3-0)	9.6% (35.5-0)	11.2% (40.0-0)	12.0% (50.0-0)	15.2% (44.9-0)
QI-7: 統合失調症患者におけるクロザピン治療率	7.2% (37.5-0)	6.3% (44.3-0)	6.2% (42.7-0)	6.9% (39.8-0)	6.1% (50.0-0)
QI-8: 統合失調症患者におけるmECT治療率	6.2% (43.3-0)	6.5% (58.3-0)	5.8% (47.8-0)	8.2% (60.0-0)	8.8% (58.3-0)
QI-9: 統合失調症患者における治療抵抗性の診断割合	/	36.5% (100-0)	40.7% (100-0)	47.6% (100-0)	51.8% (100-0)
QI-10: 統合失調症患者におけるスルピリドの処方されていない割合	98.9% (100-90.9)	99.3% (100-91.7)	99.2% (100-81.8)	99.3% (100-91.7)	99.3% (100-88.9)
QI-11: 統合失調症患者における頓服薬の処方されていない割合	69.9% (100-25.0)	70.2% (100-34.1)	67.0% (100-5.3)	63.7% (100-0)	62.9% (100-0)
QI-12: 統合失調症患者における抗コリン薬の処方されていない割合	68.5% (100-33.3)	69.5% (100-36.4)	72.4% (100-29.2)	73.3% (100-20.0)	75.1% (100-22.2)

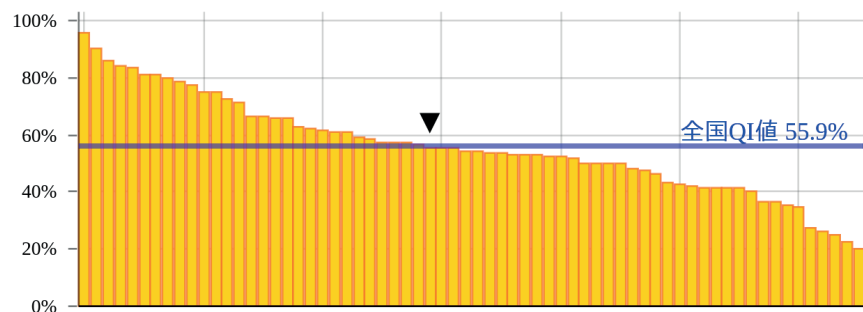
# QI-1:統合失調症患者における抗精神病薬単剤治療率

分子:退院時処方において抗精神病薬の単剤治療を行っている患者数

分母:治療を受け退院した統合失調症患者数

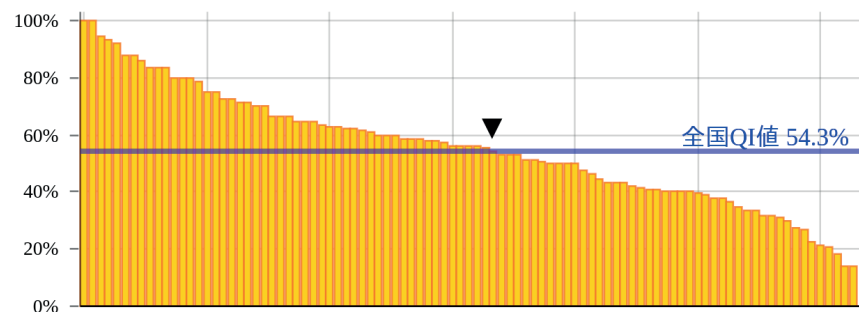
## 2017年度

▼全国QI値:55.9%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



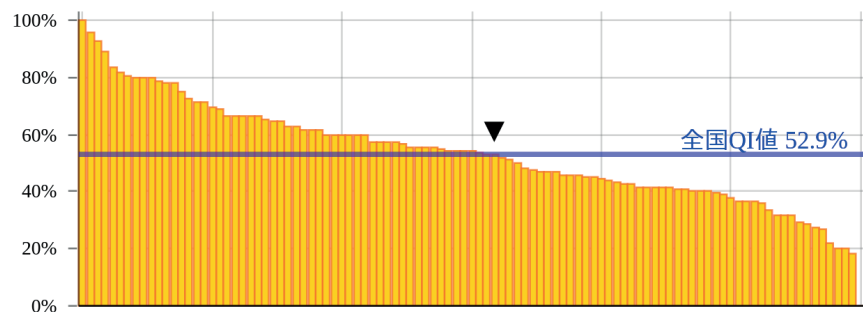
## 2018年度

▼全国QI値:54.3%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



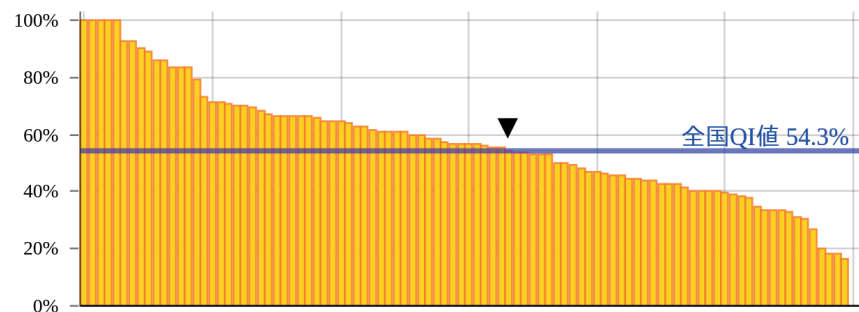
## 2019年度

▼全国QI値:52.9%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



## 2020年度

▼全国QI値:54.3%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



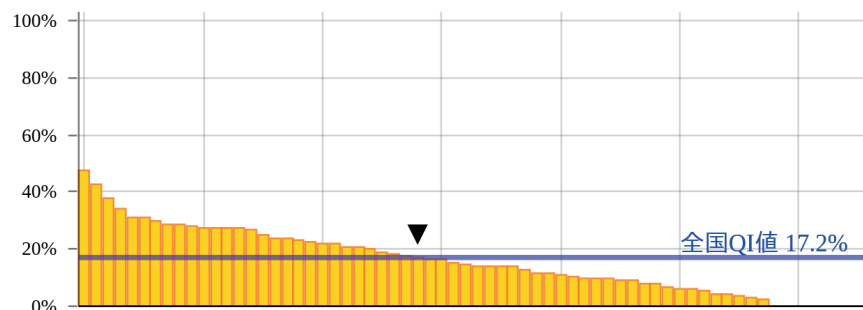
## QI-2:統合失調症患者における抗精神病薬単剤治療率(他の向精神薬との併用もなし)

分子:退院時処方において抗精神病薬の単剤治療を行っている患者数(抗不安・睡眠薬、抗うつ薬、気分安定薬・抗てんかん薬、抗パーキンソン薬、その他薬併用なし)

分母:治療を受け退院した統合失調症患者数

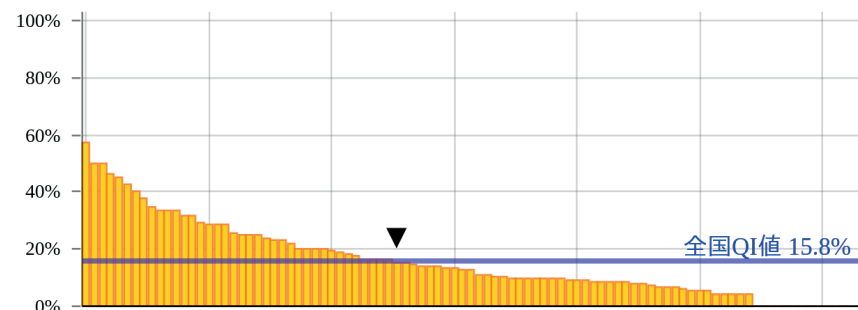
### 2017年度

▼全国QI値:17.2%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



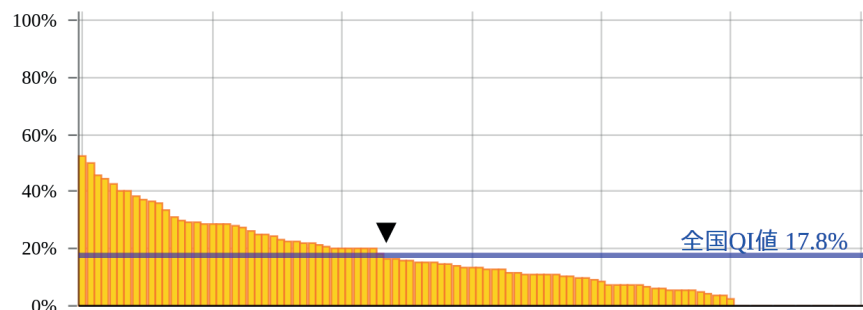
### 2018年度

▼全国QI値:15.8%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



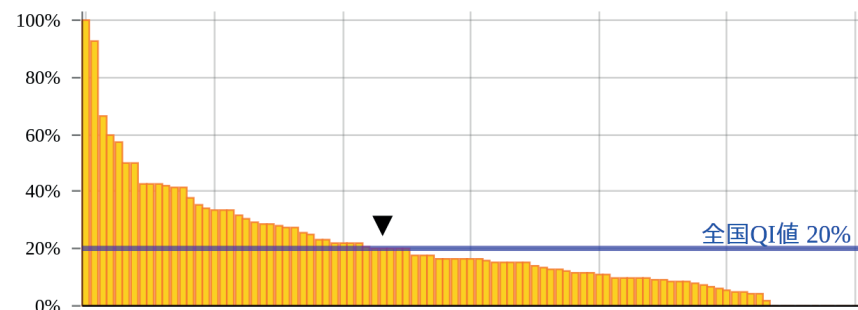
### 2019年度

▼全国QI値:17.8%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



### 2020年度

▼全国QI値:20.0%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています





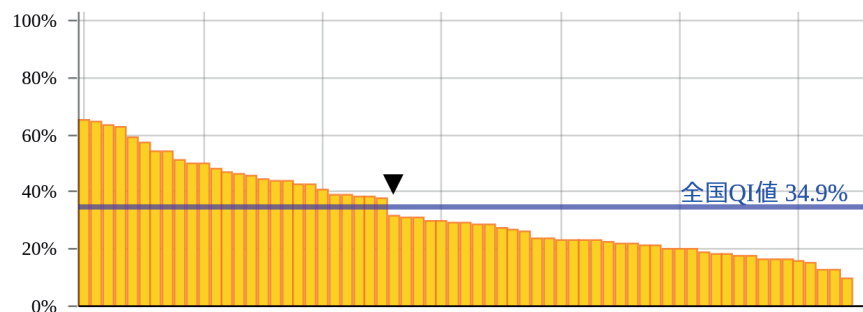
## QI-3: 統合失調症患者における抗不安薬・睡眠薬の処方されていない割合

分子: 退院時処方において抗不安薬・睡眠薬を処方されていない患者数

分母: 治療を受け退院した統合失調症患者数

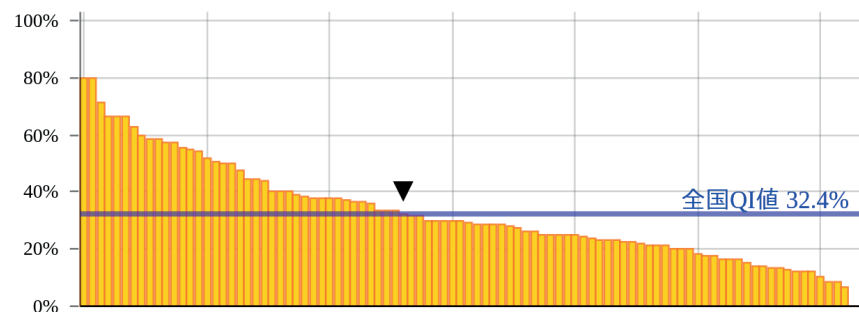
### 2017年度

▼全国QI値: 34.9%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



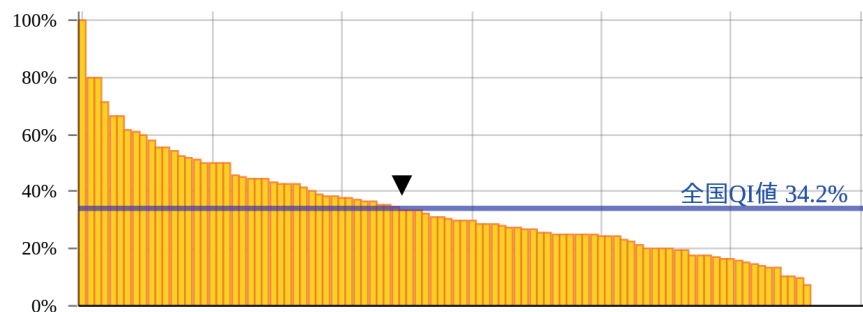
### 2018年度

▼全国QI値: 32.4%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



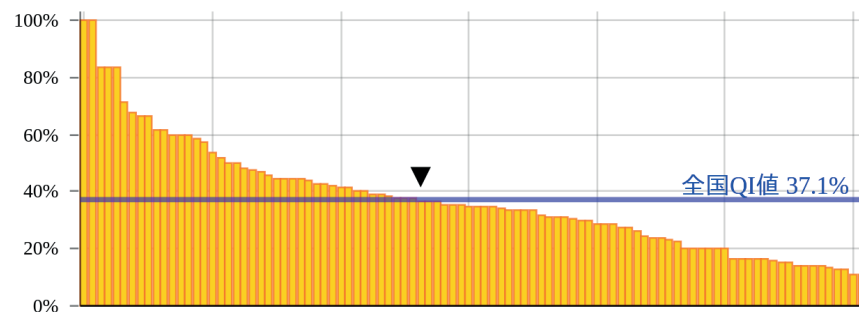
### 2019年度

▼全国QI値: 34.2%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



### 2020年度

▼全国QI値: 37.1%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



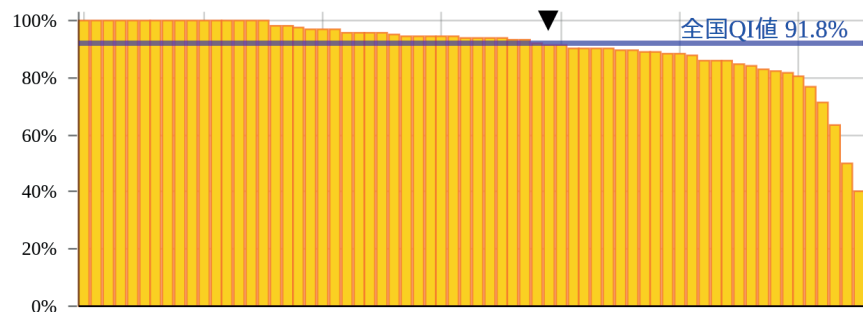
## QI-4: 統合失調症患者における抗うつ薬が処方されていないものの割合

分子: 退院時処方において抗うつ薬を処方されていない患者数

分母: 治療を受け退院した統合失調症患者数

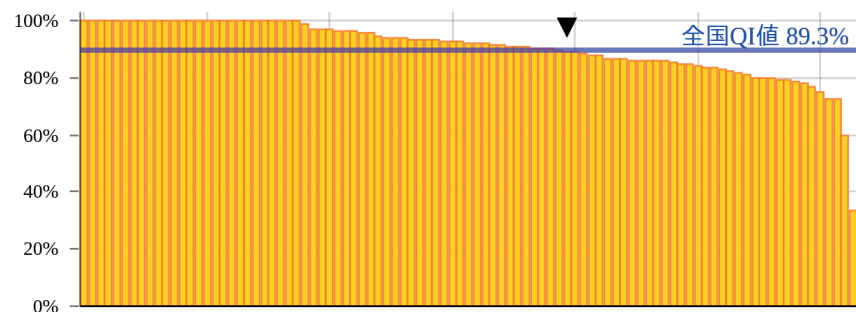
### 2017年度

▼全国QI値:91.8%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



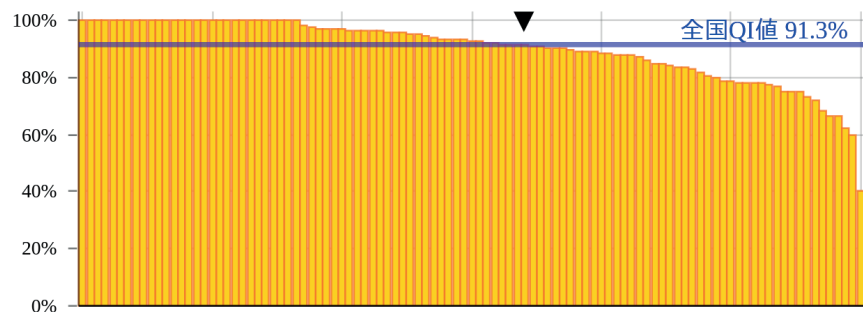
### 2018年度

▼全国QI値:89.3%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



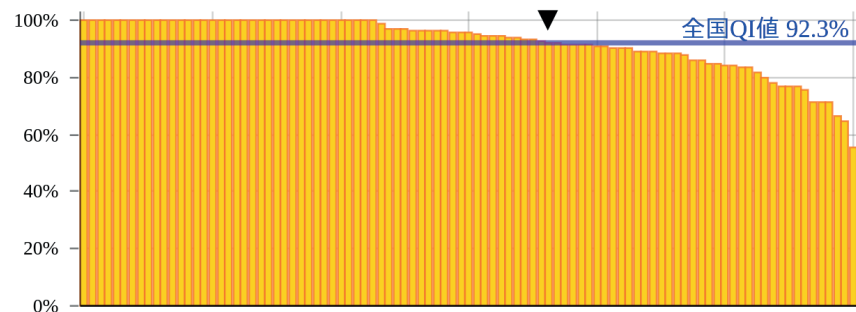
### 2019年度

▼全国QI値:91.3%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



### 2020年度

▼全国QI値:92.3%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



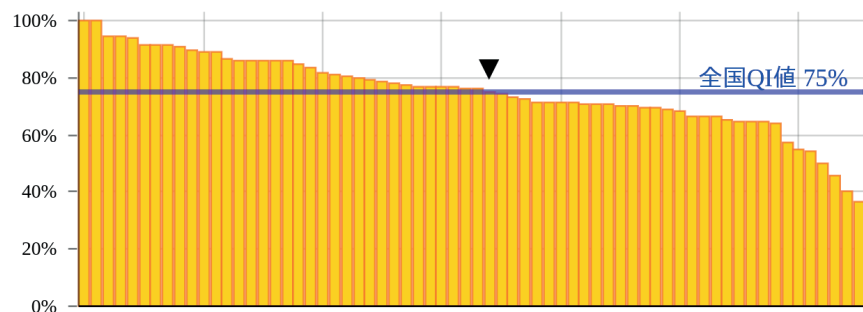
## QI-5: 統合失調症患者における気分安定薬・抗てんかん薬が処方されていないものの割合

分子: 退院時処方において気分安定薬・抗てんかん薬を処方されていない患者

分母: 治療を受け退院した統合失調症患者数

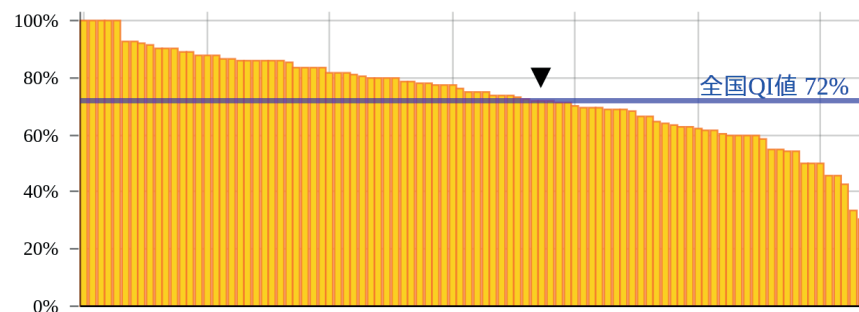
2017年度

▼全国QI値: 75.0%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



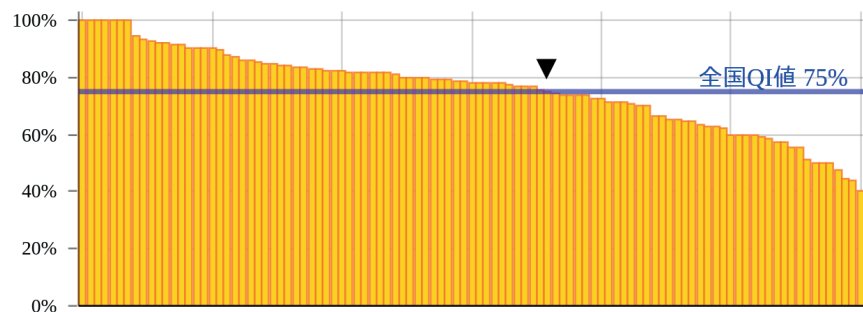
2018年度

▼全国QI値: 72.0%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



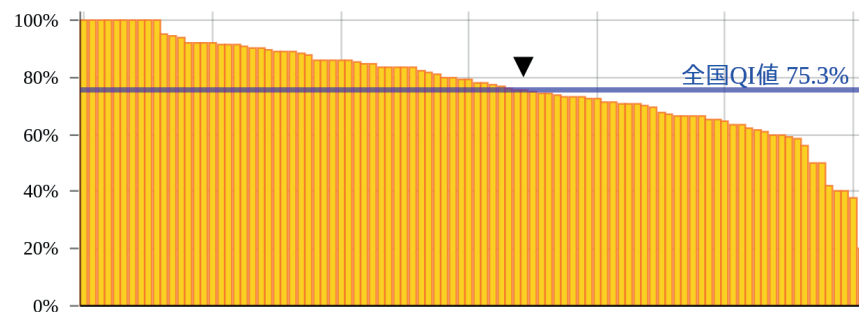
2019年度

▼全国QI値: 75.0%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



2020年度

▼全国QI値: 75.3%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



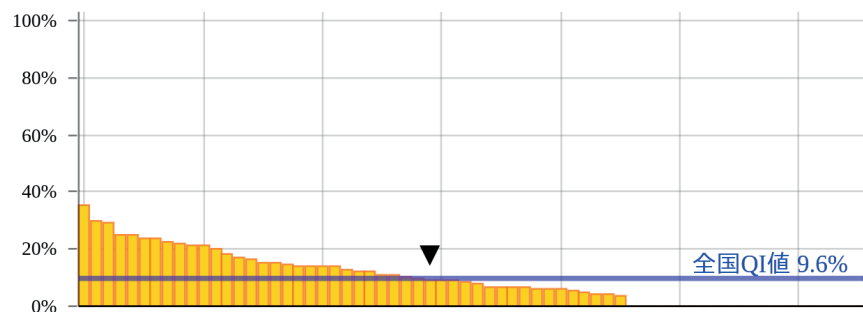
## QI-6:統合失調症患者における持効性注射剤治療率

分子:退院時処方において抗精神病薬持効性注射剤の治療を行っている患者数

分母:治療を受け退院した統合失調症患者数

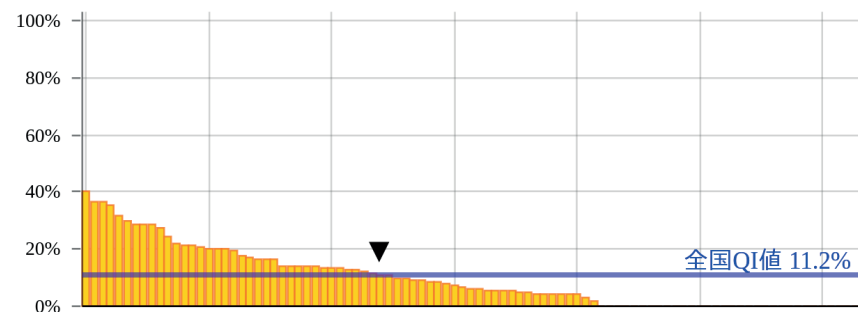
### 2017年度

▼全国QI値:9.6%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



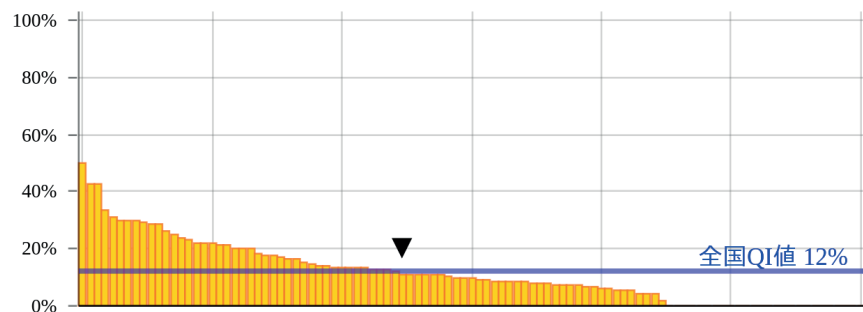
### 2018年度

▼全国QI値:11.2%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



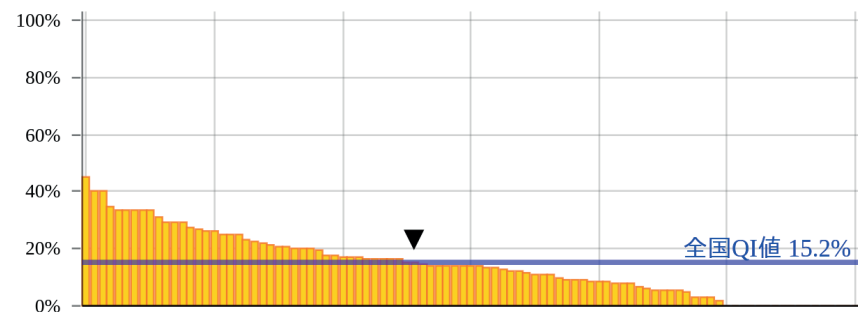
### 2019年度

▼全国QI値:12.0%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



### 2020年度

▼全国QI値:15.2%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



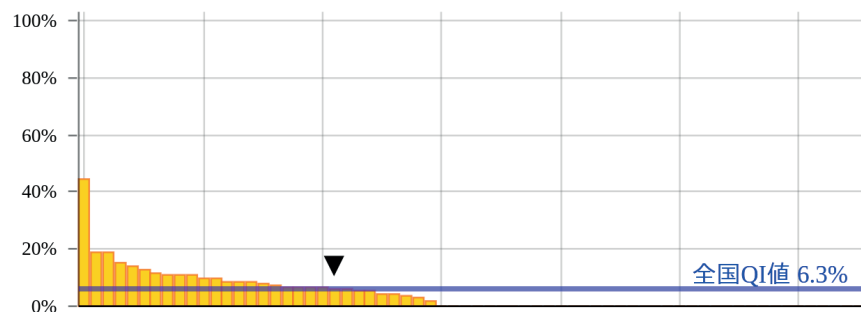
## QI-7:統合失調症患者におけるクロザピン治療率

分子:退院時処方においてクロザピンの治療を行っている患者数

分母:治療を受け退院した統合失調症患者数

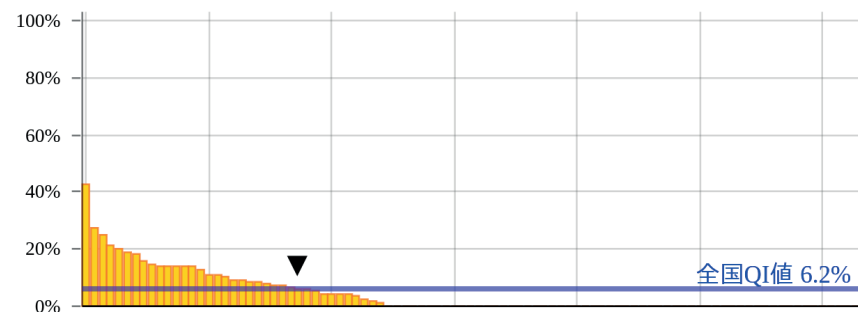
### 2017年度

▼全国QI値:6.3%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



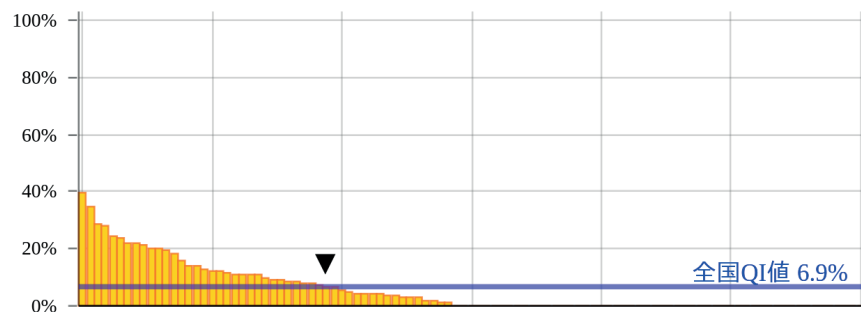
### 2018年度

▼全国QI値:6.2%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



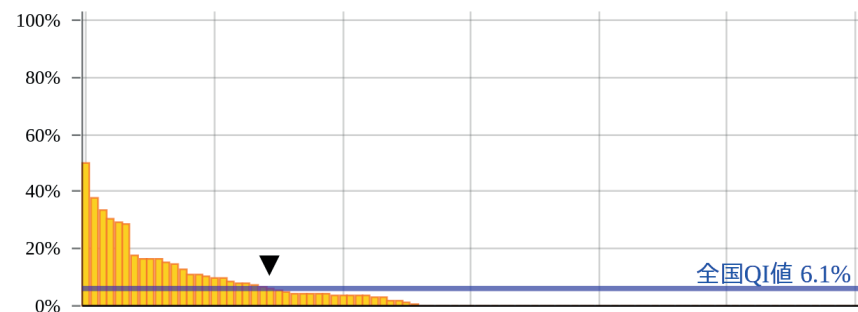
### 2019年度

▼全国QI値:6.9%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



### 2020年度

▼全国QI値:6.1%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



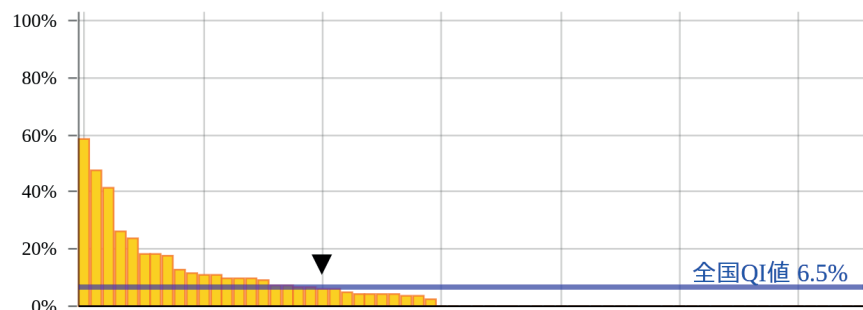
## QI-8:統合失調症患者におけるmECT治療率

分子:入院中にmECT治療を受けた患者数

分母:治療を受け退院した統合失調症患者数

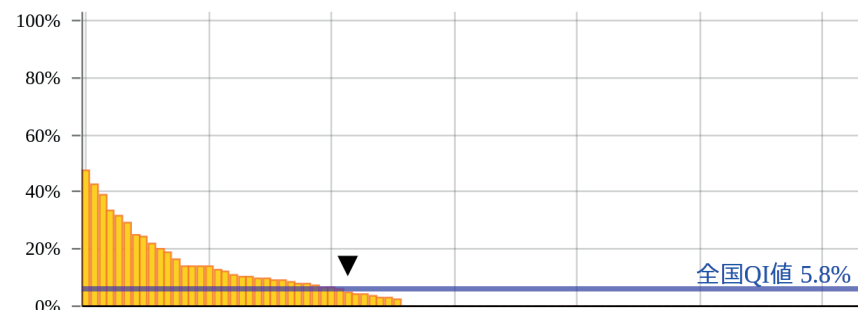
### 2017年度

▼全国QI値:6.5%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



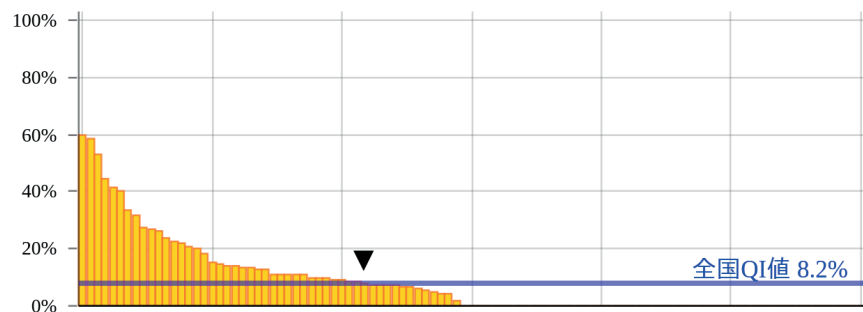
### 2018年度

▼全国QI値:5.8%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



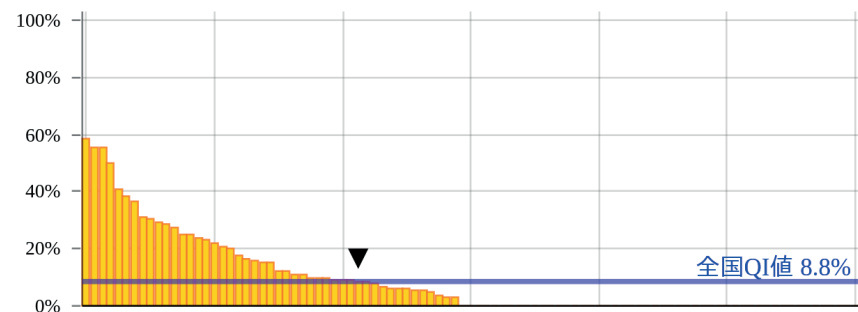
### 2019年度

▼全国QI値:8.2%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



### 2020年度

▼全国QI値:8.8%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



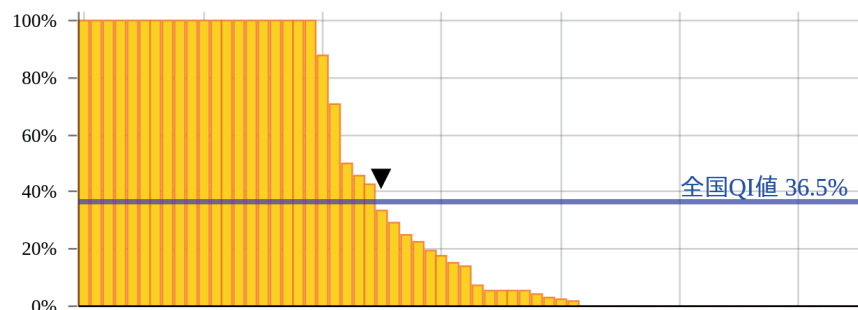
## QI-9:統合失調症患者における治療抵抗性の診断割合

分子:入院中に治療抵抗性の有無を検討した患者数(退院サマリーに記載)

分母:治療を受け退院した統合失調症患者数

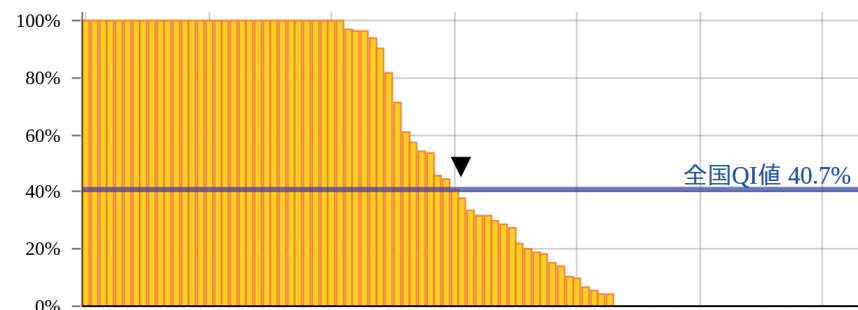
### 2017年度

▼全国QI値:36.5%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



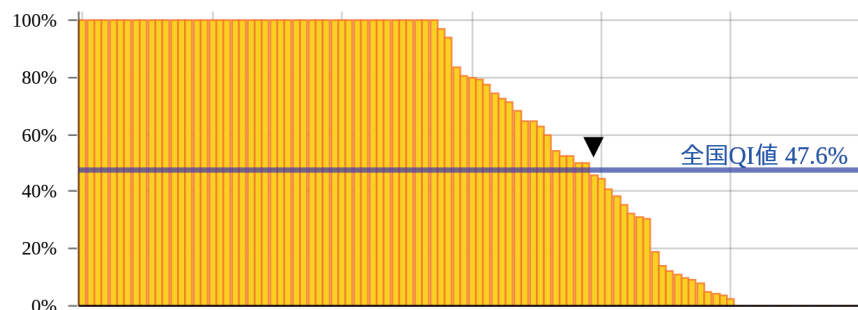
### 2018年度

▼全国QI値:40.7%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



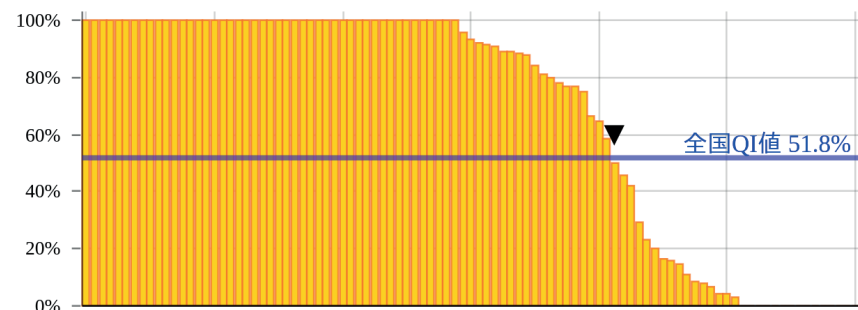
### 2019年度

▼全国QI値:47.6%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



### 2020年度

▼全国QI値:51.8%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



## QI-10:統合失調症患者におけるスルピリドの処方されていない割合

分子:退院時処方においてスルピリドを処方していない患者数

分母:治療を受け退院した統合失調症患者数

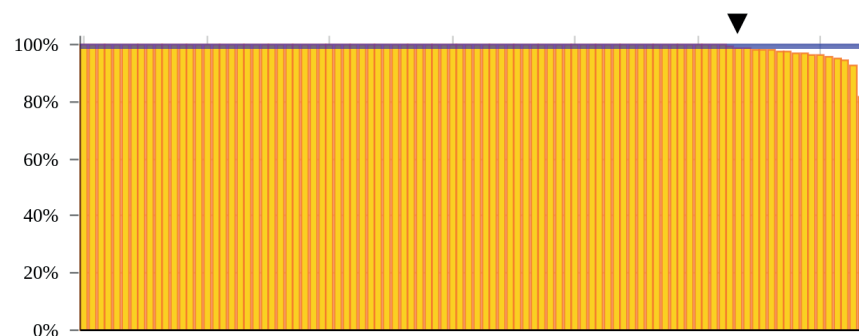
2017年度

▼全国QI値:99.3%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



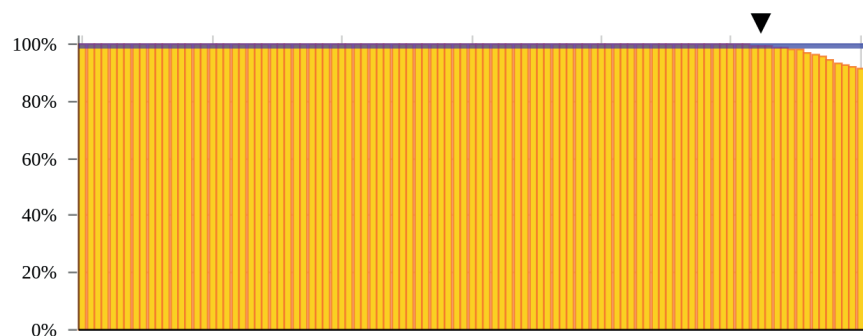
2018年度

▼全国QI値:99.2%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



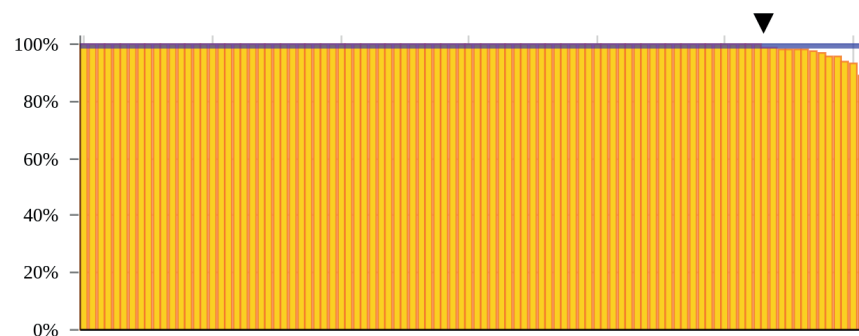
2019年度

▼全国QI値:99.3%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



2020年度

▼全国QI値:99.3%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています





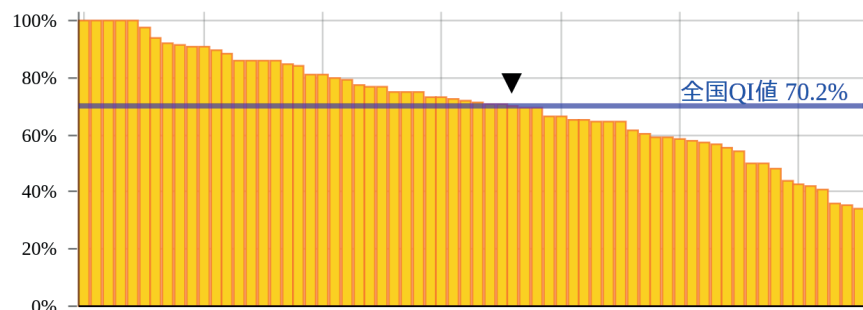
# QI-11:統合失調症患者における頓服薬の処方されていない割合

分子:退院時処方において頓服薬を処方されていない患者数

分母:治療を受け退院した統合失調症患者数

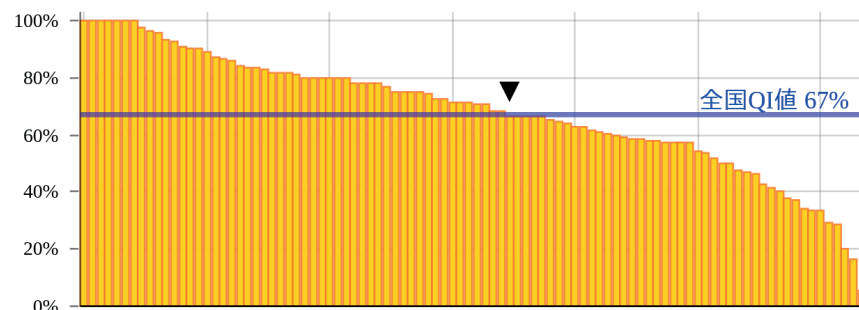
## 2017年度

▼全国QI値:70.2%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



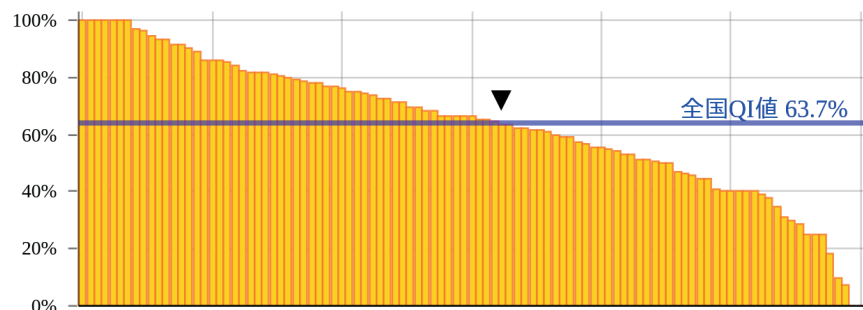
## 2018年度

▼全国QI値:67.0%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



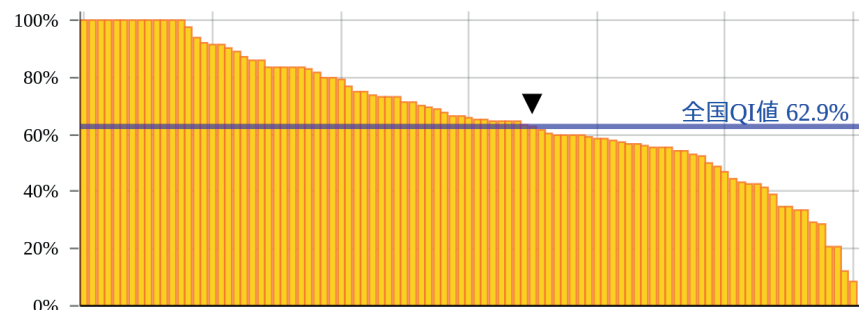
## 2019年度

▼全国QI値:63.7%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



## 2020年度

▼全国QI値:62.9%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



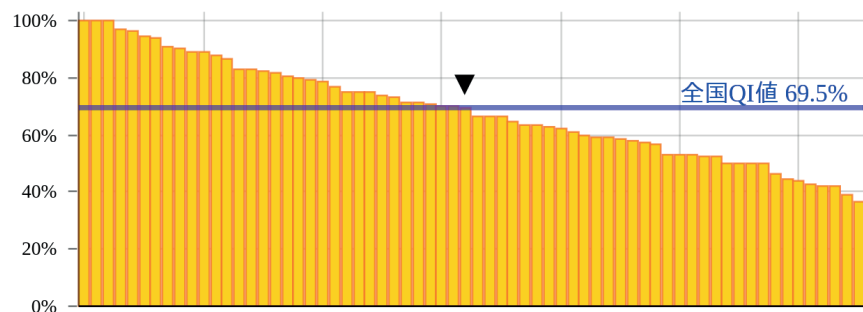
## QI-12:統合失調症患者における抗コリン薬の処方されていない割合

分子:退院時処方において抗コリン薬を処方されていない患者数

分母:治療を受け退院した統合失調症患者数

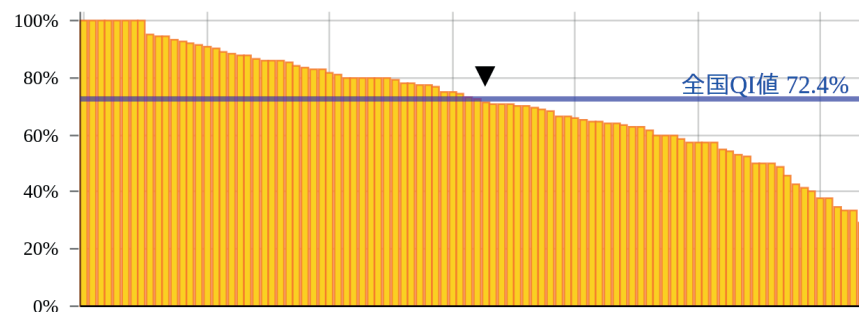
### 2017年度

▼全国QI値:69.5%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



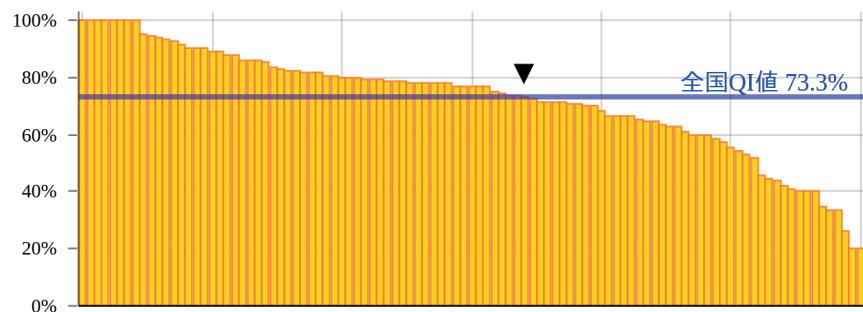
### 2018年度

▼全国QI値:72.4%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



### 2019年度

▼全国QI値:73.3%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています



### 2020年度

▼全国QI値:75.1%  
1つ1つの棒は各病院のQI値を示しています

